

令和3年度

# 毛呂山町立毛呂山小学校

## 交流体験



第5学年

## 特色

- 総合的な学習の時間の一環として車いすバスケットボールを体験しました。県障害者交流センターの方や選手が来校し、パラリンピックの内容や車いすバスケットについて実演を交えながら話をいただきました。さらに、5年生児童が選手と一緒に実際に車いすバスケットの試合を体験しました。

## 児童生徒の感想

- 車いすバスケットが楽しかった。速くこぐのが難しいとわかった。
- 車いすでもバスケットボールがこんなに楽しくできることに気づいた。車いす生活は楽しいこともたくさんあるのだと思った。

## 成果

- 車いすバスケットの体験を通し、障害の有無にかかわらず、生きがいをもち前向きに生活することの大切さを学ぶことができた。
- 東京パラリンピックが終わった後の体験だったため、障害者スポーツの一つとしての車いすバスケットをより身近に感じる事ができた。